# 山口市男女共同参画センターだより

# 令和2年11月号

発行:山口市男女共同参画センター 編集:山口市男女共同参画ネットワーク広報委員会 〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号(山口市民会館事務所2階) TEL/FAX 083-934-2841 http://www.y-djc.com/ ⊠mw3kaku@c-able.ne.jp

# ジェンダーギャップ指数の順位を上げるには

~女性の政治参加を考える~

世界経済フォーラム (World Economic Forum) が各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数 (Gender Gap Index: GGI)を発表している。この指数は、経済、政治、教育、健康の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示している。2020年の日本の総合スコアは0.652、順位は153か国中121位(前回は149か国中110位)となっている。それを各項目ごとに示したものが表1で右にある棒グラフが長いほど格差が激しい。

日本の順位がなぜ低いのかというと、この4つの 分野のうち、教育と健康の分野については、ほぼ男 女比が1となっており、この分野での格差はほぼな いのであるが、経済と政治の分野、特に政治の分野 においての格差が順位を引き下げている要因になっ ていることがわかる。

政治に関する指標には「国会議員の男女比」「閣僚の男女比」「過去50年間の国家代表の在任年数の男女比」の3つがある。このうち、一番ハードルが低そうなのが、「閣僚の男女比」になるだろう。首相が女性閣僚を多く任命すれば、この指標は大きく上がる。「国会議員の男女比」については立候補するにあたって制度として男女の格差があるわけではないので、これまでの慣習や環境を変えることが必要になってこよう。

最後の「過去50年間の国家代表の在任年数の男

表1 日本の GGI 指数

	Japan			rank countries	12	1	<b>SCC</b> 0.00 = impa 1.00 = pa	erity arity	0 <b>.</b> 65	2
									distance to pari	ty
		rank	score	avg	female	male	f/m	0.00	1.00	2.00
経	各(全体)	115	0.598	0.582					<u> </u>	
1	労働力率の男女比	79	0.814	0.661	69.8	85.8	0.81			
2	同種業務での給与格差	67	0.672	0.613	-	-	4.71			
3	勤労所得の男女比	108	0.541	0.499	27.8	51.4	0.54			
4	幹部・管理職での男女比	131	0.174	0.356	14.8	85.2	0.17			
5	専門職・技術職の男女比	110	0.680	0.756	40.5	59.5	0.68			
教	育(全体)	91	0.983	0.954						
1	識字率の格差	1	1.000	0.899	99.0	99.0	1.00			
2	基礎教育在学率の格差	1	1.000	0.757	-	-	-			
3	中等教育在学率の格差	128	0.953	0.954	48.8	51.2	0.95			
4	高等教育在学率の格差	108	0.952	0.931	-	-	-		l l	
保任	建(全体)	40	0.979	0.958					1	
1	出生時の男女比	1	0.944	0.925	-	-	0.95			
2	健康寿命の男女比	59	1.059	1.034	76.9	72.6	1.06			
政	台(全体)	144	0.049	0.239						
1	国会議員の男女比	135	0.112	0.298	10.1	89.9	0.11			
2	閣僚の男女比	139	0.056	0.255	5.3	94.7	0.06			
3	過去50年間の国家代表の在任年数の男女比	73	0.000	0.190	0.0	50.0	0.00	0.00	1.00	2.00

女比」であるが、これが一番上げるのが困難な指標だと考えられる。仮に今女性首相が誕生したとして、25年続けて女性首相が務めないとこの指標を1にすることはできない。

日本は未だ女性首相が誕生していないのでポイントは当然0なのだが順位は73位となっている。ということは、日本を含めて81の国がこの指標については0ということなので、女性首相の誕生はGGI指数を上げるにおいて有効ではないかと推察される。

では、ここで在任期間が 長い女性宰相とGGI指数に ついて見てみよう。(表2)

表の一番上に掲載しているアイスランドのヴィグディス・フィンボガドゥティル氏は何と16年間も大統領を務めている。フィンボ

表 2 在任期間が長い世界の女性宰相と GGI 指数 (2020 年 8 月 25 日現在)

氏名	国	役職	在任期間	GGI 順位
ヴィグディス・フィンボガドゥティル	アイスランド	大統領	16年0日	1
ユージェニア・チャールズ	ドミニカ国	首相	14 年 328 日	86
アンゲラ・メルケル	ドイツ	連邦首相	14 年 269 日	10
メアリー・マッカリース	アイルランド	大統領	13 年 364 日	7
エレン・ジョンソン・サーリーフ	リベリア	大統領	12年6日	97
タルヤ・ハロネン	フィンランド	大統領	12 年 0 日	3
シェイク・ハシナ	バングラデシュ	首相	11年 224 日	50
チャンドリカ・クマーラトゥンガ	スリランカ	大統領	11 年 17 日	102
ダリア・グリバウスカイテ	リトアニア	大統領	10年0日	33
グロリア・アロヨ	フィリピン	大統領	9年161日	16
マーガレット・サッチャー	イギリス	首相	11年 208 日	21
インディラ・ガンディー	インド	首相	11 年 90 日	112
ヘレン・クラーク	ニュージーランド	首相	8年350日	6
ヴァイラ・ヴィーチェ=フレイベルガ	ラトビア	大統領	8年0日	11
クリスティーナ・フェルナンデス・デ・キルチネル	アルゼンチン	大統領	8年0日	30
シリマヴォ・バンダラナイケ	スリランカ	首相	7年55日	102

表 3 アイスランドの GGI 指数

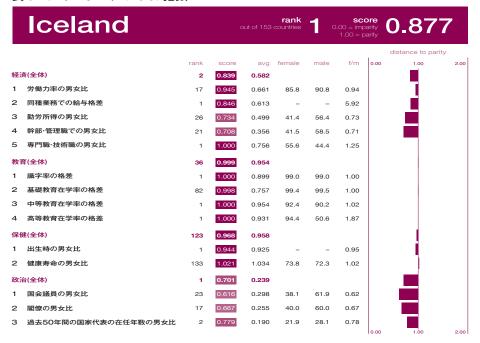


表 4 バングラデシュの GGI 指数

Bangladesh		out of 153 countries $50^{\circ}$ 0.00 = imparity 1.00 = parity							
							1	distance to pari	ity
経済(全体)	rank 141	o.438	avg 0.582	female	male	f/m	0.00	1.00	2.00
1 労働力率の男女比	139	0.454	0.661	38.1	83.9	0.45			
2 同種業務での給与格差	98	0.603	0.613	_	_	4.22			
3 勤労所得の男女比	131	0.408	0.499	2.3	5.6	0.41			
4 幹部・管理職での男女比	139	0.128	0.356	11.4	88.6	0.13			
5 専門職·技術職の男女比	134	0.421	0.756	29.7	70.4	0.42			
教育(全体)		0.951	0.954						
識字率の格差	105	0.928	0.899	71.2	76.7	0.93		i	
2 基礎教育在学率の格差	1	1.000	0.757	93.7	91.5	1.02		1	
3 中等教育在学率の格差	1	1.000	0.954	68.9	58.8	1.17			
1 高等教育在学率の格差	127	0.707	0.931	17.0	24.0	0.71			
保健(全体)	119	0.969	0.958					1	
出生時の男女比	1	0.944	0.925	-	_	0.95		i i	
2 健康寿命の男女比	129	1.024	1.034	64.1	62.6	1.02		ì	
攻治(全体)	7	0.545	0.239						
1 国会議員の男女比	86	0.260	0.298	20.6	79.4	0.26			
2 閣僚の男女比	124	0.087	0.255	8.0	92.0	0.09			
3 過去50年間の国家代表の在任年数の男女比	1	1.000	0.190	25.6	24.4	1.05		]	
							0.00	1.00	2.00

ガドゥティル氏は世界最初の女性大統領で、女性問題だけでなく、環境問題や冷戦の解決にも尽力したと言われている。彼女の功績もあってかGGI順位も1位となっている。

それではと思いGGI順位1位のアイスランドのスコア(表3)をみてみると、政治部門の総合1位ではあるものの、3つの指標については1位になっている指標はない。首長の在任年数の長さでは2位となっている。。

では1位はどこかというとバングラデシュである。(表4)しかしながら、総合順位は50位となっている。女性首相を輩出しているものの、他の指標の差が大きく、特に経済面での格差がおおきいためご覧のような数字となっている。

以上、すこしだけジェンダーギャップ指数のスコアを紹介したが、 日本がこの順位を上げていくには、「女性のリーダーを多く作ること」が必須であろうと考えられる。そのための啓発活動はしっかり進めていかなくてはならないだろう。

# 少子化問題を考える 山口市の取組み

∼山□市産科新規開設・承継等事業費補助金~

山口市の現在抱える大きな課題として、お産ができる医療機関の数が年々減少していることがあげられます。市内に産科・婦人科は9カ所ありますが、お産を取り扱う医療機関は3カ所のみとなっています。また、約6割の山口市民が市内で分娩を行っています。医療機関3カ所と助産所1カ所で市民の分娩の約6割を支えているという現状となっています。

平成21年からの令和元年までの10年間にお産ができる医療機関の数は半減しました。このままでは、市内で充分な分娩が受けられなくなってしまうことも考えられます。産科があまりにも少ない現状はなんとかして打破していかなくてはなりません。

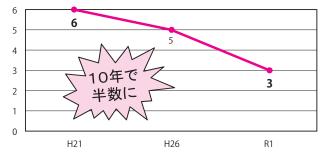
この課題を解決するために山口市では平成30年4

月から、身近な地域で安心して出産し子育てできる 環境の充実を図るため、分娩を取り扱う産科医療機 関の新規開設及び承継等への補助制度をスタートし ています。

その内容は、①医療設備整備への補助②医師招へいへの補助、①②合わせて上限2000万円の補助が受けられることになっています。

産科を希望する医学部学生の減少、医療の高度化、訴訟リスクなど産科医療機関を取り巻く環境が益々厳しくなっていく中、地域の分娩体制を守っていかなくてはなりません。このような制度を周知することをはじめ、市民全体で問題意識をもって課題を解決していくことが重要だと考えます。

#### 山口市内の分娩を取り扱う医療機関数



#### 山口市民の分娩場所



山口市産科新規開設・承継等事業費補助制度の概要

## ①医療設備整備への補助

#### 対象経費

産科に関する医療機器購入費、その他診療に必要と認められる備品購入費

#### 限度額

最大 2000万円(1回に限る)

### 補助率

対象経費の 2/3

## ②医師招へいへの補助

#### 対象経費

医師に支払う給料、賞与、その他の手当て(分娩手 当を除く)等

#### 限度額

最大 2000万円(上限24か月)

#### 補助率

対象経費の 2/3

※限度額は①②合わせて2000万円が上限になります

1頁表1及び2頁表3・4はWORLD ECONOMIC FORUM「Global Gender Gap Report 2020」より抜粋、一部和訳 2頁表2はフリー百科事典「wikipedia/選出もしくは任命された女性の政府首脳の一覧・選出もしくは任命された女性の元首の一覧」より抜粋 3頁図表は「山口市産科新規開設・承継等事業費補助金」チラシより抜粋

# | 講座報告

# 産婦人科医に学ぶ 知りたい聞きたい女性のからだ 8/29

講師:山口県総合周産期母子医療センター長

佐世 正勝 氏

ライフステージによって女性の体は変化します。この講座では、若年から高齢に至るまで年代に応じた女性の体の諸症状について、産婦人科医師にお話しいただきました。自分自身の体や病気について知り、健康でいるために日頃から気を付けなくてはいけないこと、心がけるとよいことなどを教えていただき、有意義でした。



## 楽しく動いて体幹づくり 9/5

講師:スタジオF代表

江藤 やす世 氏



コロナウイルス感染拡大 防止によるステイホーでも 続いたため、家庭でもでも る体幹トレーニングをを 画した講座でした。年齢や 得手不得手を問わずにでする を幹トレーニングは好ず で、参加者からは「体がる らかくなって感動した」な どの感想が聞かれました。



## お金の介護 9/19

講師:山口市社会福祉協議会

地域福祉権利擁護事業担当専門員

からだの介護があるように、お金に関する介護を 受けられる制度が日常生活自立支援制度です。高齢 や障がいのため、例えば預金の出し入れや通帳・証 書等の保管などに不安を抱えている方々が支援を受けられます。講座を受けて「こういう制度について初めて知った」「自他ともに困らないように準備を怠らないようにしたい」という参加者が多くおられました。

# いま知っておきたいLGBTQ 9/26

講師:弁護士 鈴木朋絵氏

「LGBTQ(セクシュアルマイノリティ)」について、聞きかじりの情報や思い込みではなく、まず正しい知識を身に付けるための講座を開きました。私たちが知っているようで知らない、また、苦しんで

おられる当事者もおられることを事例とともにお話 しいただきました。参加者からは「国がこの問題を 無視していることが当事者を苦しめていると思う」 など自分の身近に引き寄せた感想が聞かれました

# おんなの目 おとこの目

最近、「加瀬加奈子の男道」 という面白いブログを見つけた。 元自転車競技日本代表で、ガー ルズケイリン一期生の加瀬選手 だが、座右の銘は「男道」好き な言葉は「飲み放題」とあるよ うに、男っぽい性格が人気を博している。ただ、最近は結婚し、 出産を経験したことで、子育て をしながら、競技に打ち込む毎 日がブログに綴られている。

競輪の世界ではまだまだ少ないママさんレーサー。その中でも加瀬選手が家族や周りの人たち、遠征先での後輩選手などの協力を得ながら選手生活を続け

ているのがブログから見て取れる。

子育てをしているとなかなか 競技に集中できないこともある。 そんな中でも、いろいろと試行 錯誤をしながら「守るべきもの ができた」からと言って、毎回 結果を残している加瀬選手に エールを送りたい。